

令和元年度

第2回加賀市地域公共交通会議

議事録

日時 令和2年2月26日（水）  
午後1時00分～午後2時45分  
場所 加賀市役所 302・303 会議室

## 令和元年度 第2回加賀市地域公共交通会議

日 時 令和2年2月26日(水)  
午後1時00分～午後2時45分  
場 所 加賀市役所302・303会議室

### 1 開会

#### 事務局

本日は、お忙しい中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。それでは、令和元年度第2回加賀市地域公共交通会議を開催いたします。

#### 会議成立報告

#### 事務局

まず始めに、会議の成立報告を申し上げます。

本日の会議の出欠状況につきましては、4名の委員が欠席ではありますが、過半数に達する出席となっておりますので、加賀市地域公共交通会議設置要綱第7条第3項に基づき、本日の会議は成立していることをご報告いたします。

この後の進行につきましては、会長にお願いしたいと思います。それでは、会長、よろしくお願いたします。

### 2 報告

#### 会長

本日は、お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

コロナウイルスで大変な状況の中お集まりいただき、私もこのような経験はあまりありませんが、この時期の会議では本年度1年間の状況のまとめと報告していただき承認をいただく位置づけでありますので皆様よろしくお願いたします。

それでは、まず、今年度の「地域公共交通の利用状況について」です。

事務局から説明してください。

#### 事務局

まず、加賀温泉バスが運行する路線バスについてです。温泉バスはご路線ありまして温泉山中線、温泉片山津線、吉崎線、温泉大聖寺線、山代大聖寺線とありまして、年間計と1か月計を読み上げます(資料のとおり読み上げ)。

次に前年対比ですが温泉山中線101.3%、温泉片山津線112.8%、吉崎線101.9%、温泉大聖寺線111.0%、山代大聖寺線74.6%となっております。全体で101.8%となっております。温泉大聖寺線については74.6%と下がっており、高校生などの通学をメインとした路線と認識しておりますので、温泉バスさんと連携しながら取り組んでいきたいと考えております。

続いてキャンバス片山津・橋立循環線では片山津・湖北地区の通学をメインとした路線であります。こちらと同じく、年間計と1か月計を読み上げます(資料のとおり読み上げ)。全体で108.2%の利用者数となっております。

続いて、乗合タクシー利用実績でございます。エリア①、こちらは大聖寺が主なエリアでございますが、前年対比で111.7%、エリア②こちらは湖北、片山津を主なエリアとしておりますが、106.7%、エリア③山代、山中エリアで101.5%、全体で106.9%の利用がありました。

昨年度113.6%でしたので、それに比べれば少ない状況ですが、利用者は伸びてきておりますので、引き続き取り組みを強化してまいりたいと考えております。

**会長**

事務局への質問ですが、今回のコロナウイルスへの影響や対応などありましたらお答え願えますか。

**事務局**

先日、石川県でもコロナウイルスを発症者が確認されたと報道があったところですが、それまではコロナウイルスで騒がれていましたが、直接的に市の交通担当の方に問い合わせなどが寄せられることはありませんでしたが、報道後には、石川県様の方からの情報提供をいただいております。すぐに関係事業者様に通知させていただいているところでございます。

具体的に、利用人数が減ったなどということについては後程事業者様からのご発言があろうかと思いますが、ウイルスは人に見えないものですので注意を怠らないようにしたいと考えております。

**会長**

その他、委員の皆さまからのご質問、ご意見などはございますか。よろしいですか。では続いて個別案件について議事を進めてまいります。まずは加賀温泉バスの運行内容の見直し（案）についてです。よろしく願いいたします。

**委員**

まずコロナの話ですが、路線バスについては大きな影響はございませんが、貸し切りバスはキャンセルが相次ぎ大きな影響が出ております。3月に卒業旅行など温泉地がピークを迎える時期であります。その時期まで引っ張ると乗合路線にも影響が考えられます。運転手にはマスク・消毒を徹底しておりますが、どこもそうですがマスクが品薄でそういう心配もでございます。早く終息を願いたいところです。

ダイヤ改正については便数を維持して利便性を考えた調整を行いました。山代小学校の下校時刻に合わせた15時45分から15時12分に変更し、吉崎線も錦城中学校のヒアリング結果により夏季・冬季ダイヤを区分けする必要がないということで統一したものでございます。

温泉特急線も他路線との兼ね合いで兼六園下バス停を同時刻に発車する便がありましたが、解消するための時刻変更を行います。

**会長**

温泉特急線の状況はいかがですか。

**委員**

伸びてきており、浸透してきたかなというところがございます。ただ北陸新幹線の開業の時にどうするかというのはありますが、現状では伸びてきております。

**会長**

そのほか、委員の皆さまからのご質問、ご意見などはございますか。よろしいですか。次にキャンバスの状況についてお願いします。

**委員**

コロナウイルスについて、片山津・循環線については今のところ影響はございませんが、本来のキャンバスは観光客を主体としておりまして、本来であればこの時期卒業旅行などで増便があり、私はこの場にはいないのですが、今年はそのような状況になっておりません。

旅館のキャンセルがこちらにも情報が入ってきており、それに伴って、キャンバスの利用客も減少しているこんなようなことがございます。状況を見て役員会で検討しないといけないということが発生するかもしれないと思っています。

キャンバス片山津・橋立循環線の篠原・塩浜間を1分としておりましたが、この県道の走行車両が多く1分が厳しいということから2分と変更させていただきます。

次に料金の見直しについてです。まず資料のとおり読み上げさせていただきます（資料読み上げ）。

平成27年度にこのバスをはじめましたが、最初は美術館だったところを実行前まで乗り入れしました。平成29年度は昼の便をやめて、夕刻の部活が終わった生徒の送迎のための便を作りました。平成30年度は湖北地区の乗り入れを行い、また柴山町の停留所を移設するなど利便性向上の取組を行いました。そういったことで利便性向上の取組と一緒に利便性が上がったのだから仕方がないということで値上げについてもご理解をいただいていたという現状でございます。

もうすこし白町の方が便利にならないかななどの声もきこえてきておりまして、当局とも相談しながら、利用者の意見を聞いて料金の見直しも検討していきたいと考えていますので、今年度については1年間の料金据え置きとさせていただきたいと思っておりますので委員として意見させていただきます。

次に山まわり線について、旅館に泊まったお客様が海回り線に乗るために1便は温泉駅直行をしておりました。お客様からの声で直接那谷寺などに行く方のために直行をやめて停車するように変更したいと思っております。

**会長**

今年度は料金については据え置きということですが、努力しながら改善してきているということで委員の皆さまからのご質問、ご意見などはございますか。承認ということではよろしいですか。では承認ということにさせていただければと思います。

次に乗合タクシーの運行内容の見直し（案）について事務局から説明してください。

**事務局**

乗合タクシーにつきましてはダイヤの変更、エリアの変更等は本年度はございません。2点町

の方から停留地点についての要望がありました。これについては基本的に各町の要望に沿った形で調整できればと思っております。

一白町はもともと1か所しか停留地点がなく、規模からも他の町と比較しても2か所の設置としても公平性に問題はありせん。区長を通して、増設の要望がありましたので地図のとおり増設させていただきます。

打越町はもともと2つの停留地点があり、増設についてはほかの町との均衡の問題がありますので2つでお願いしたところであります。町内で検討の結果今ある停留地点の片方を図のように移設することで要望がありましたので変更させていただくものです。

本年度は6月の交通会議でご案内しました通り、松ヶ丘でも1件増設の要望があり変更をいたしました。たまにこのような要望が寄せられますので、都度都度基本的には要望に合わせる形で調整してまいりたいと考えております。

#### 会長

委員の皆さまからのご質問、ご意見などはございますか。よろしいですか。承認ということにさせていただきます。

### 3 報告

#### 会長

引き続き、情報共有のための報告の話題がございます。事務局から説明してください。

#### 事務局

乗合タクシーに予約配車システムを導入しております。これは昨年8月に導入しました。利用者にはもともと電話で予約していただいていたが、導入によりインターネット経由で予約できるようになりました。予約情報を基に自動で運行経路が作成され、ドライバーに伝達されるというものです。

インターネットブラウザ上でどこからどこまで乗るといった情報を入れると、直接ドライバーの端末に表示され、電話予約の場合も、オペレータが代わりに情報を入力することで、自動で運行経路が設定されドライバーに伝わります。

これによって改善されたことは、インターネットであれば24時間予約できること、予約締め切り時間を出発時間の1時間前までから乗車停留地点の出発時刻の30分前に短縮できたこと、予約受付した情報を紙又は電話で伝達する手数が軽減されたこと、運転手も自動で表示されるタブレット情報を確認するだけで済むことから予約情報を確認・理解する作業が軽減されています。

現状として、約17%の方が1時間以内に予約をしており、導入前であれば受付できない時間でしたがより便利よく使っていただけるようになっております。

一方で課題として、予約増加に伴う予約電話の混雑が見受けられ、コストを考えてもオペレータの増員は考えにくい状況があります。そのため、スマートフォンをお使いになる方についてはインターネット予約をご活用いただくことによって、電話の混雑を解消していきたいと考えております。

ところが、インターネット予約の利用数であります。2020年2月の実績で予約1067件に対

してインターネット予約は5件であります。ここまででご説明したように電話予約であっても間接的な利便性の向上はされたと考えておりますが、まだまだインターネットからの予約が少ない現状ですので増やすための取組を行いたいと考えております。

利用者の大半が70歳以上の方となっております。12月にスマホ予約教室を実施しましたところ、やってみると意外と簡単という声が聞かれました。反面、全く慣れないという方もいましたが、やってみてもいいかなと思う利用者を拾い上げるために、利用回数の多い方を抽出し個別に案内することを地道にやっていきたいと考えております。

#### 会長

委員の皆さまからのご質問、ご意見などはございますか。よろしいですか。

#### 委員

スマホ教室に際して協力を求められ、いろいろ声をかけてみたが、結局スマホを使える人を紹介した。ところが、スマホを使える人は今も車を使っている。その人達が行くことに決めた理由は、いずれ自分たちも免許を返納しなくてはいけなくなる。その時に役に立つようにという思いがあったと思う。免許返納を考えている人には効果があると思う。

30分前まで短縮とあったが、私も知らなかった。浸透していないと思う。将来を見越して今は車に乗っている人でも免許返納は考えることがあるので、そういう人たちをターゲットにこれを機会に周知に力を入れていただきたいと思う。

#### 会長

将来はスマホから病院の予約をするということになっていくと思うので、サービスの連携も考えていくのが良いと思いました。

つづいて、次世代のモビリティサービスに係る取組みについて説明してください。

#### 事務局

資料ではモネテクノロジー株式会社との連携とありますが、この会社と次世代モビリティサービスにかかる協定を締結いたしました。

この会社はソフトバンクとトヨタ自動車が出資して設立した会社で、ソフトバンクの「情報革命」とトヨタの「移動の自由」というそれぞれが掲げる取り組みを融合してあんしん快適なモビリティサービスを目指すために作った会社であります。

今日指定の趣旨は、加賀市は多核分散都市で21地区が点在し、移動の不効率が発生しております。移動はマイカーに依存しており、これを改善するためにはマイカーと同等以上のモビリティサービスを提供することで、人々の移動の在り方が変わっていくと考えて加賀市とMONETがそれを推進するために協定の締結に至ったものであります。

協定に基づき、乗合タクシーにセンサーを取り付け走行距離速度、路面の傷み具合などの情報を収集しております。これを活用して、運行の効率化と都市計画の改善に役立てようと考えております。

**会長**

委員の皆さまからのご質問、ご意見などはございますか。よろしいですか。  
県の方からこういった取り組みに対して何かございませんでしょうか。

**委員**

加賀市は積極的に次世代モビリティサービスに力を入れていると考えておりまして、国では地域公共共通再生化活性化法の改正案を提出しているところです。地域の公共交通の確保するため、各地の取り組みを評価するものです。県としても全国的な動きをとらえながら、取り組みを考えていきたいと考えております。

**会長**

委員の皆さまからのご質問、ご意見などはございますか。よろしいですか。  
全ての公共交通の車両が自動運転になるのでしょうか。

**事務局**

現状で申し上げますと、自動運転の技術は確立されつつありますが、法律上安全面を考え、今の段階ではドライバーが運転席におり何かあった場合にはすぐハンドルを持てる状態での走行しか認められておりません。しかし、交通事業者様の話を聞いていると運転手の不足も大きな問題でありまして、人員確保の面からも自動運転技術の導入は有効であると考えておりますので、技術の進歩や法律面を見ながら対応をしていきたいと思っております。

**会長**

委員の皆さまからのご質問、ご意見などはございますか。よろしいですか。  
つづいて、MaaS 推進について報告してください。

**事務局**

MaaS はモビリティ・アズ・ア・サービスという英語表記の頭文字をとったもので、直訳しますと「一つのサービスとしての移動」となります。バス・電車・タクシーそれぞれの交通を一つのサービスとして捉えて、連携させることで利便性を高めるといった新しい考え方があります。これを実現するためには最近取り上げられている先端技術を活用することも考えられます。利用者は使いたい交通を自由に検索でき、予約し、決済までも完結し、それに関連する情報、例えば、観光情報やイベント情報などが一緒に提供されるような仕組みが MaaS と呼ばれます。さらにいろいろなデータとの連携も模索できます。

この MaaS を推進するため、過度なマイカー依存と包括的な交通サービスの構築を目指して 2 月 4 日に「加賀 MaaS コンソーシアム」を立ち上げました。計 8 社の参画をいただいております。加賀市にあった構想づくりを行い、加賀市スマートシティ推進官民連携協議会で共有したのち具体策に取り組んでいくもので、必要に応じて交通会議での報告調整を行ってまいります。

**会長**

委員の皆さまからのご質問、ご意見などはございますか。よろしいですか。

#### 4 その他

##### 会長

その他皆さまから何かございませんか。

では最後に委員の皆さまからのご意見をいただきたいと思います。

##### 委員

国土交通省でも MaaS の技術には着目しており、支援をしていく方向になっております。一方で、コロナウイルス、自然災害とあってよいと思いますが対策が見えない状況であります。今週事業者からのヒアリングでは貸し切りバスの影響を認識し、影響の把握をするため事業者への調査を行うこととしております。

運転手様をお願いしたいのは出社される前に検温をしていただき、少しでも不調が見られた時には休暇を取るなど、予防策を取るようお願いしたいと思います。利用者の市民の方にも、手洗いがいなどの対策をお願いし、交通の維持にご協力をお願いしたいと思います。

##### 委員

マイカー依存の緩和に取り組むということでしたが、県警としても高齢者の免許返納を促進し、交通安全につなげていくことを考えています。警察としても、のりあい号の予約時間の短縮など報告のあった取り組みに対して協力し、交通安全と次世代モビリティサービスの普及に関わっていきたいと考えております。

##### 委員

コロナウイルスの影響で旅館の予約状況で3月から4月にかけて大きな影響がでると考えています。一方で MaaS の推進は地方の観光の起爆剤になる事業と考えておりますので期待をしているところです。

##### 委員

小中学校ではバスを使う生徒はごく少数ですが、そこに合わせて時刻改正をしていただいていると伺って大変ありがたいと思います。公共交通とは関係がありませんが、不審者対策ということで、保護者の送迎が大変多くなっております。学校としては行き帰りもいろいろなことを学ぶ社会学習の場であるという考えも持っておりますが、むげに送迎をやめてくださいとも言えずジレンマを抱えております。

またコロナウイルスについてですが、学校現場としては非常に神経を使っていて、コロナウイルスを学校に入れないように業者にも消毒の徹底をお願いしているところです。

##### 委員

三谷地区はバスも走っておらず乗り合いバスの利用者が増えてきている。一人暮らしの高齢者も多い。乗り合い号運転手の親切で家の前まで送ってもらっている人もいると聞いている。いい意見として聞いております。

##### 委員



免許返納を子どもから促され、返納したために移動の手段がない。老人会の集まりでも迎えに来てくれるなら参加するという人が多くなっている。動かないから足腰が悪くなり痴呆にもなりやすい。このような状況で、MaaS を推進することで移動の機会が増え、さらに先ほどスマホが使えないといった話もあったが、ガラケーがサービス終了となりスマホに移行する高齢者も増えるだろうということも考えれば行政サービスの連携なども踏まえた MaaS サービスの普及が見られるのではないかと考えます。

#### 委員

図書館資料によれば昭和 40 年くらいには市内を環状につなぐ電車網があった。その駅は細かく、使い勝手が良かったのではないかと思います。その線というか廃線跡を利用して、無人のバスを走らせれば効率の良い交通を復元できるのではないかと。

#### 会長

それでは、事務局に進行を戻します。

### 5 閉会

#### 事務局

ご審議ありがとうございました。本日の会議はこれをもって終了いたします。